

名和内科・巢南リハビリセンター 広報誌「清」

SAYA

2023 SEPTEMBER Vol.10



医療型サービス付き高齢者住宅 巢南 スタッフ

岐阜清流病院 広報誌「清」

SAYA

2023 SEPTEMBER Vol.10



岐阜清流病院・臨床工学課 臨床工学技士

岐阜清流病院の特色を活かした地域中核病院としての「透析医療と役割」について教えてください。

木野村医師…岐阜清流病院では、現在110名程の患者さんが透析医療を受けています。

透析を受けることになった患者さんの持病がそれぞれ異なりますので、複数科の医師が連携して透析医療にあたっています。一週間の間に、内科、循環器内科、心臓血管外科、腎臓の専門医6名が血液浄化センターを訪れて、密に連携を取り合っていることが、岐阜清流病院の透析医療の特徴の一つだと言えます。

また、通常であれば、医師同士で相談し、患者さんへの処置を決めていくのですが、当院では看護師や臨床工学技士から医師への相談もスムーズに行える環境であり、処置が必要

な患者さんに対して円滑で適切な対応を行うことが可能です。

それに伴い、今まで当院では完結できなかった透析に関わる合併症の大部分を行えるようになりました。具体的には、透析患者さんがよく患われる冠動脈疾患や下肢動脈閉塞疾患のカテーテル治療、肺炎などの感染症や心不全、シヤントの造設や修復などです。これらを一貫して岐阜清流病院で行えるような体制づくりを進めてきましたので、当院の透析患者さんだけではなく、近隣の透析クリニックの患者さんへも同じようにサポートを行っています。

透析クリニックの先生方から入院加療や疾患精査目的でご連絡を頂いた際には、迅速にお応えできるよう努めており、ご紹介いただく数も年々増加しています。大病院だとすぐに入院できないケースがある

かと思いますが、当院では即時に対応できますので、それが地域中核病院として地域へ貢献できる一番の強みだと思います。

岐阜清流病院では、今年4月に血液浄化センターの増築も行い、受け入れられる患者さんの数も増えました。今まで以上に医師同士や看護師、臨床工学技士とコミュニケーションを密にとり合っており、シームレスな医療を透析患者さんに提供できるように、これからも頑張っています。

血液浄化センターにおける看護師の業務と役割について教えてください。

藤森看護師…

当院の血液浄化センターは1階から3階まであり、目的に応じた使い分けをしています。透析患者さんの高齢化が進んでいますので、

療を提供できるように務めています。

血液浄化センターにおける臨床工学技士の業務と役割について教えてください。

富田臨床工学技士…

透析は非常に多くの特殊な装置を使用します。

また、当院の血液浄化センターでは、QOL（生活の質）を高めるために、患者さんに対して薬剤や食事など様々な指導を行っています。そこには医師、臨床工学技士、看護師、管理栄養士、生理検査技師、放射線技師、理学療法士、訪問看護師など多職種が関わっており、連携がとて大切です。血液浄化センターの看護師は患者さんやご家族の代弁者となつて調整する役割も担っています。チームを上手く運営し、これからも患者さんに良い医

当院の臨床工学技士は、それらの管理や保守を行いながら、同時に血液浄化センターに所属する看護師への指導やサポートを行っています。患者さんが来院される前には、装置の動作確認や透析液の濃度確認、患者さんが使用する血液回路の取り付けや、プライミングを行い、患者さんがきちんと使用できるように状態を整えています。透析開始時には、患者さんのシヤントに針を2本刺す穿刺という作業や、装置の操作、および透析中の患者さんの血圧管理や、体調の変

看護師長代理
藤森 由実

血液浄化センター長
木野村 祐二郎

臨床工学課 主任
富田 佳宏



化がないか観察することも臨床工学技士に求められている役割です。

また、医師の指示の下、患者さんの血液検査データなどを利用し、看護師と相談しながら透析条件の変更を行っています。具体的には、透析時間や、患者さんの体から透析装置に取り出す血液の速さや、余分な水分を除去する速さの変更などです。一口に透析患者さんと言っても、透析を導入した際の年齢や体格、腎臓が悪くなった原因

は様々ですので、それぞれの患者さんの現在の状態に合わせた透析条件を決定しています。

その他、当院の臨床工学技士の重要な役割として、心臓カテーテル検査の業務も行っています。近隣のクリニックから狭心症や心筋梗塞の患者さんを紹介していただく際に、透析と同時に心臓のカテーテル検査を行う場合がありますので、臨床工学技士も立ち会って治療に参加しています。患者さんに安心して透

析治療を受けていただけるように、また少しでも「透析を受けて良かったな」と思ってもらえるように接していきたいと思えますし、患者さんの笑顔が私達の励みです。これからも患者さんに喜んでいただけるように、スタッフ一同精進していきます。

木野村医師…これから力を合わせて頑張っていきたいと思います。

インタビューの様子は動画でもご覧いただけます



TEAM SEIKOUKAI

清光会グループで活躍中のスタッフを紹介します！



●メッセージャーってどんな仕事？

私たちメッセージャーは当院に4名在籍しており、6病棟を担当しています。直接的な医療行為や患者さんに関わることはなく、病棟の医師や看護師が業務を円滑に効率よく行えるよう、さまざまな周辺業務を補助・サポートしています。事務作業や物品管理の他、依頼に応じて紙カルテや物品を各部署へ運搬することがメイン業務です。PCスキルなどは特別必要ありませんが、患者さんの個人情報扱う仕事になりますので、プライバシー面に於いては十分な注意が必要です。また、広い病院内を一日中往復移動するので、とにかく歩き回る仕事でもあります。疲れる日もありますが、良い運動にもなっています。

《メッセージャーの主な業務》

- 医療材料、衛生材料、滅菌物等の定数管理・整理整頓
- 薬品、検体等の運搬
- 緊急時物品の受け渡し
- 事務処理(紙カルテ作成・整理、書類の整理等) 他

●病棟に関わる一員としてのやりがいと思

“春夏秋冬”に当てはめた“心という言葉を知ったのは、知人に毛筆で書いてほしいと頼まれたのがきっかけでした。すごくいい言葉だなと感動し、以降、自分自身のモットーにしており、仕事をするうえでもこの言葉を大切にしています。メッセージャーの仕事はスタッフの裏方として、常に先を見ながら動き回ります。その働きでスタッフの依頼や要望に応えることができた時の達成感はとても大きく、喜びと自信につながっています。

これからも病棟に関わるチームの一員としてはもちろんのこと、時には姉のように、母のように??スタッフの支えになれたらと日々思いながら、これからもメッセージャーという仕事に誇りをもって頑張っていきたいと思

四季の心

人に接するときは 春のような温かい心
仕事をするときは 夏のような燃える心
物事を考えるときは 秋のような澄んだ心
自分を見つめるときは 冬のような厳しい心

●自己紹介

フィリピンのダバオ出身のアローヨ・ジャレーン・セルボです。日本での生活を始めて約5年になります。巣南リハビリセンターでは2021年4月から介護職員として働いています。介護という仕事は大変なことも多くありますが、日々やりがいを感じながら楽しく働いています。

●日本で介護の仕事を始めたいきっかけは？

友人から日本で介護の勉強をしながら働くことができる制度があることを聞き、興味を持ちました。フィリピンでは介護施設は少なく、多くの家庭では家族が介護を行います。そのため、介護職という職種がどういったものなのか興味を持つようになりました。日本で介護についての知識を学び実際に働くことは、自分にとって良い経験になるだろうと介護職を目指すことに決めました。

●日本に来てから就職するまでの流れ

まず学校に2年間通い、日本語を学びました。日本語は英語に比べて特殊な表現も多く、難しく感じることもあり

ましたが、2年間で一般的なコミュニケーションはとれるようになりました。その後、中部学院短期大学部で介護・福祉について学びました。日本語で介護について学ぶことは大変でしたが、学習したことを施設研修などで活かしたときはやりがいを感じました。日本に来る前は不安に感じることも多くありましたが、日本はとても住みやすく、過ごしやすいため楽しく生活できています。

●今後の目標は？

利用者さんとお話をする時に日本語を正確に理解できないことがまだあるので、コミュニケーションの幅を広げるために日本語をもっと詳しく学びたいです。また、レクリエーションやリハビリ補助を積極的に行うフロアで働いているので、そのような分野についてもさらに学びたいです。利用者さんへの接し方が上手な先輩スタッフをお手本にして、より良いサービスを心がけます。今後、多くの利用者さんに安心して楽しく過ごして頂けるように頑張ります。



2023年5月

瑞穂市老人クラブ連合会総会にて講演会を開催

5月26日(金)ココロかさなるCCNセンター(瑞穂市総合センター)において、岐阜清流病院 松本病院院長が「人生100年時代、ひざの健康を考える」をテーマに講演を行いました。本講演は瑞穂市老人クラブ連合会主催による健康講演会で、212名の方々にご参加いただきました。変形性膝関節症を中心に、症状や保存療法、新規治療のPRP療法、さらには手術(人工膝関節置換術)について解説いたしました。

実際に手術を受けられた方が術後にどのような改善があったかを動画で紹介したり、日々の生活の中で簡単にできるストレッチを実演したり、様々な角度から膝の健康に関する知見を紹介しました。

講演後の質疑応答では参加者から多くの質問が寄せられ、膝に関する関心の高さを実感しました。今後も地域の皆さまの健康に少しでもお力になれるよう努めてまいります。



清流ぶらす通信

6/11(日)「明時祭(あじさい)」に参加しました

「明時祭(あじさい)」とは、地元(瑞穂市)の若者たちが企画運営する地域活性化イベントです。昨年度に続き、当施設「清流ぶらす」もそのイベントの拠点のひとつとして参加しました。当日はあいにくのお天気でしたが、穂積駅周辺からスタートした「謎解きウォーク」や「シャルソン^{*}」等、参加者約300名のにぎやかなイベントになりました。

当施設内では、「防災クッキング」や「紙飛行機作り」、瑞穂市レクリエーション協会の「軽スポーツ体験会」を行いました。

このイベントには、地域の繋がりを創り、地域を元気にしたい！という想いが込められています。これは当施設が目指し、担うべき役割と同じです。今後も積極的に地域のイベントや取り組みに参加しながら、小さな「ぶらす」を積み重ねていくことで、地域に貢献していきたいと思っております。

※シャルソン=「ソーシャル」と「マラソン」を組み合わせた造語。走ることを通してまちを再発見し、人とつながるランニングイベント



医療法人清光会 名和内科 岐阜県瑞穂市重里2005 TEL:058-328-3311
 巣南リハビリセンター 岐阜県瑞穂市重里1996 TEL:058-328-3387
 グランフォート清流 岐阜県瑞穂市本田908-1 TEL:058-329-5001
 清流ぶらす 岐阜県瑞穂市別府1227-1 TEL:058-216-6360



2023年4月

ぎふ清流ハーフマラソンに参加しました！

4/23(日)ぎふ清流マラソンに職員14名(ハーフ9名/3km5名)が参加し、全員完走しました！当日は晴天の中、オリジナルユニフォームを着て全員が力走！沿道の方から「清流病院がんばれ！」とたくさんの声援をいただき、とても力になりました。次はい



びがわマラソン出場です。これからもチーム一丸となってがんばります！

2023年6月

第51回岐阜広告協会賞を受賞しました！

県内で制作された優れた広告を表彰する第51回岐阜広告協会賞(主催:岐阜広告協会)において、フリーペーパー・雑誌広告部門で、当院の広告が銅賞を受賞しました。松本和病院院長が推し進める膝疾患の治療・手術を告知する



告知する広告です。

(制作:株式会社 中広)

漢方コラム

第6回

新型コロナと漢方

記事執筆 診療部長 越路正敏先生

新型コロナも感染症法で5類となり、法律の上では、インフルエンザと同等の扱いとなりました。とは言っても、インフルエンザよりも重症化割合やコロナ後遺症に悩まされる人も多いようで、まだまだ気を許せません。今回は、新型コロナに使われる漢方薬について私見を述べたいと思います。

コロナウイルスに対する薬が開発され市場に出回る前、西洋薬では有効な薬が無かったので、漢方薬に効果がないかと想像以上に投与された経緯があります(結果、漢方薬が市場で不足状態となりました)。これまでにコロナに処方したと報告された漢方薬は、葛根湯、小柴胡湯加桔梗石膏、麻杏甘石湯、麦門冬湯、補中益気湯など。

東北大学の報告や962名を対象にした他施設共同研究などでは、軽症~中等症患者において、発症4日以内に治療を開始すれば、重症化リスクを減らす可能性があることが報告されています。もともとコロナウイルスというのは従来の風邪

の原因菌のひとつで、ご存じのように、新型コロナの症状は風邪と同様です。漢方薬の処方選択は、原因の如何に関わらず、患者の状態をみて決定することが基本ですから、新型コロナといえども風邪処方の漢方薬が選択されることは理に合っています。

漢方薬はウイルスを殺すというより、自分の免疫を高め、ウイルスに負けない状態、ひいてはウイルス増殖を抑えるというものです。あるいは症状に対して、それを緩和する効果をもつ処方です。

ただ、ウイルスそのものに対して抗ウイルス薬を凌駕するほどの強力な効果はないので、重症化リスクの少ない人がひき始めの時期に使うと、懐具合にもやさしくて(抗ウイルス薬ってホント高いんです!)案外良いんじゃないでしょうか。



【漢方外来/越路医師】第1~4金曜日 14:00~16:00 ※完全予約制

岐阜清流病院 岐阜県岐阜市川部3丁目25番地 TEL:058-239-8111(代)